

世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道

熊野古道伊勢路 ガイドマップ



熊野古道

東紀州
マップ

伊勢路

伊勢から熊野へ

- 1 女鬼峠
- 2 三瀬坂峠
- 3 荷坂峠道
- 4 ツツラト峠道
- 5 紀伊長島市街
- 6 一石・平方峠・三浦峠道(熊ヶ谷道)
- 7 始神峠道
- 8 馬越峠道
- 9 尾鷲市街
- 10 八鬼山越え
- 11 三木峠道・羽後峠道
- 12 曾根次郎坂太郎坂
- 13 二木島峠道・逢神坂峠道
- 14 波田須の道
- 15 大吹峠道





昔、荷車の通った跡と思われます。くっきりと二本の轍の跡が残っています。



女鬼峠は石墨千枚岩を掘割って通した峠道です。当時の掘削技術を考えると、かなりの難工事であったのではないかと思います。



名号碑(右)には南無阿弥陀仏と彫られています。祠の中には如意輪観音が祀られています。



天平神護二年(766年)称徳天皇により建立されました。周囲から奈良時代の軒瓦などが出土しています。

■ 距離／約1.8km

■ 歩行時間／45分

■ 散策レベル／★

■ コースの特徴／熊野三山を目指した巡礼者たちは、お伊勢参りをすませた後、伊勢路のスタート地点である田丸で巡礼衣装に着替え、熊野三山を目指しました。熊野街道(伊勢路)で最初に越える峠が女鬼峠です。女鬼峠は昼間でもほの暗く、千枚岩の岩盤を切通した道は、古道の歴史を感じることができます。



その昔、倭姫命(ヤマトヒメノミコト)が宮川を渡られる際に案内をした真奈胡神(マナコノカミ)が祭神で、境内には玉砂利が敷かれており、静かな空気が流れています。



地元の人々が、道中の安全を祈って祀られたとされる説と、むかし、この地域周辺で疫病が流行し、これ以上広まらないようにと祀られたという説がありますが、さだかではありません。



石室の中に地藏(宝暦6年・1756年)が祀られています。



一晩中つけておく明かりのことをいいます。昔の人々が街道を通る際の道しるべとし、また信仰の場としていたと思われます。

■ 距離／約2.2km

■ 歩 行 時 間／60分

■ 散 策 レ ベ ル／★

■ コースの特徴／巡礼者は三瀬の渡しで宮川と別れを告げて、三瀬坂峠を目指します。三瀬坂峠(標高256m)は高い峠ではありませんが、急坂のつづら折りがつづきます。茶屋跡や、宝暦6年に祀られたとされる地藏などがあり、古道の雰囲気を感じることができます。道も歩きやすく、初心者の方にもおすすめです。



憩い石

旅人が腰掛けて休憩したことになんで名がついた大岩です。風通しのいい尾根にあるので、一休みに最適です。



オンツヅジの道

4～5月頃、オンツヅジの群生が新緑に映えてとても美しいです。年間を通して四季の変化が楽しめる明るい雑木林です。



沖見平

見晴らしのいい休憩所。江戸時代の紀行作家・鈴木牧之が詠んだ二句が書かれた木板が立っています。



猪垣

林道に出たあたりに、猪や鹿から田畑を守るために積み上げられた猪垣が道に並行して残っています。

- 距 離／約7.5km (JR梅ヶ谷駅～JR紀伊長島駅)
- 歩 行 時 間／2時間30分
- 散 策 レ ベ ル／★
- コースの特徴／江戸時代中期、徳川吉宗の時代に紀州藩の街道整備に伴って「紀伊の国」への正式な玄関口となりました。勾配はゆるく、道幅も広いので歩きやすい道です。峠を越えてからの紅葉樹やシダの多い自然道では、季節の移ろいが目を楽しませてくれます。



都を追われ、熊野詣の旅に出た花山法皇の遥拝所跡近くに、西国三十三所の観音石像が安置されています。



標高357m。伊勢から熊野三山を目指す巡礼者が、初めて熊野の海を目にした場所です。



谷に面して数ヶ所にある石垣は、いにしえから長い風雨に耐え道を護ってきた、いわば道路保護の遺跡といえます。



深い緑のシダ類が茂る中を、ジグザグに縫うように石畳が敷かれています。

■ 距離／約9.5km (JR梅ヶ谷駅～JR紀伊長島駅)

■ 歩行時間／4時間

■ 散策レベル／★★★★

■ コースの特徴／かつて「伊勢の国」と「紀伊の国」の国境だった峠です。江戸時代以降、荷坂峠道が正式な紀州の玄関口となっても、昭和初期まで生活道として使われました。ツヅラトとは九十九折のことで、カーブが連続しますが、石畳や石垣もよく保存されています。



ツツラト峠や荷坂峠歩きの拠点として賑わう道の駅マンボウの前には片上池が広がり、冬には越冬に来たカモたちを眺めながらの食事を楽しめます。



長島城主であった加藤家の菩提寺で、多くの古文書を相伝しています。また、早春に花を咲かせる樹齢270年を越す城腰紅梅(じょうようこうばい)が有名です。



クスノキ、スギ、スダジイ、イヌマキ等の大木が並ぶ樹叢は県指定天然記念物に指定されています。神社入口の石段左手に立つ樹齢1000年のクスノキは特に見事です。



蔵のある家や街角の小さな祠、昔ながらの狭い路地などが残り、ぬくもり溢れる漁師町です。



一石峠の登り口にある、頭も真ん丸で愛嬌のあるお地藏様です。



古里海岸、紀伊の松島を一望できます。東屋もあるので、お昼休憩に最適です。



道瀬海岸に出る手前にひっそりと鎮座している神社です。



季節によって天草を干しているなど、海辺の生活を覗いたり、水平線に浮かぶ島々を眺めながら歩きます。

- 距離／約7.6km (加田教会前バス停～JR三野瀬駅)
- 歩行時間／3時間
- 散策レベル／★
- コースの特徴／紀北町紀伊長島区加田から三浦まで、一石峠・平方峠・三浦峠の3つの峠を越えます。紀伊の松島など熊野灘の優美な景色を楽しめる、なだらかなコースです。古里、道瀬などの素朴な海辺の町を散策したり、温泉に立ち寄るのもオススメです。



明治道のところどころには、見事な石積みが残ります。



標高147m。かつては茶屋があり、今は土台の石積みが残っています。



紀伊の松島の島々が熊野灘に浮かぶ優美な景色が開けます。澄んだ日は志摩半島まで見渡せます。



段端だけ石を並べた石段ですが、排水のためや、草鞋を洗うために使われたといわれる洗い越しが数ヶ所に残っています。

- 距離／約3.5km (始神さくら広場発着、峠折返し)
- 歩行時間／1時間50分 (始神さくら広場～江戸道～峠～明治道～大舟橋の距離・歩行時間は別紙)
- 散策レベル／★★
- コースの特徴／始神峠は紀北町紀伊長島区と海山区の境に位置します。江戸道コースと明治道コースがあり、始神峠で合流します。どちらも比較的歩きやすい道ですが、江戸道は少しきついです。峠の展望台からは紀伊の松島と呼ばれる島々を一望できます。



夜泣き地蔵

旅の安全を祈願するために建立されたお地蔵様は、子供の夜泣きに霊験あらたかな石仏とも信じられています。



石橋と石畳

小川にかかる大きな一枚岩の橋。ここは、石畳道の撮影ポイントの一つでもあります。



可涼園桃乙句碑

馬越峠には江戸末期の俳人可涼園桃乙の「夜は花の上に音あり山の水」と刻まれた句碑が建っています。



馬越公園展望台

春から初夏にかけては桜やツツジ、秋には萩の花が美しい公園内に、眺めの良い東屋があります。

■ 距離 約5.2km (道の駅海山～JR尾鷲駅)

■ 歩行時間 2時間45分

■ 散策レベル ★★★

■ コースの特徴 重厚な自然石が折り重なるように敷き詰められた石畳は、日本でもトップクラスの雨量を誇る尾鷲の雨から道を守ってきました。峠からは、頂上の絶景が素晴らしい天狗倉山や便石山への登山コースが整備されているので、余裕があれば寄り道してみましょう。



尾鷲神社と金剛寺

樹齢1000年ともいわれる大楠が立派な尾鷲神社と、山門両脇の仁王像が出迎えてくれる金剛寺が並んでいます。毎年2月1日～5日には、勇ましかけ声とともに男たちが激しくぶつかりあう尾鷲神社の例祭「ヤーヤ祭」が行われます。



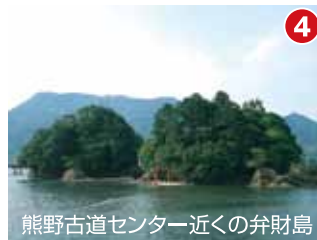
袖片橋と矢ノ浜道

熊野街道の道標や石碑などが残る矢ノ浜道は、かつて多くの巡礼者が行交った道。その玄関口には、昔、湾を挟んでお互いの存在を知らず暮らしていた2人の若者が偶然にこの橋で出会って互いの存在を喜び合い、別れの際に2人が出会った証としてお互いの片袖を交換したという言い伝えが残る、袖片橋があります。



土井子供くらし館・土井家郷倉

洋館と蔵を活用した日本屈指の古玩を展示する「土井子供くらし館」(予約制)があり、林町本通では古き良き町並みが楽しめます。郷倉は藩政時代の備蓄倉庫で、津波にも安全な高台に建っています。



熊野古道センター近くの弁財島

熊野古道センターの目の前に浮かぶ赤い鳥居がある島は、弁財天を祀る弁財島。干潮時には歩いて渡ることができ、歴史探訪のほか潮溜まり観察も楽しめます。



巡礼供養碑

①

1 基目は茨城県、2 基目は長崎県、3 基目は広島県からの行き倒れ巡礼者を、地元の人たちが手厚く弔い建てたものです。



七曲り

②

八鬼山越えの中でも最も勾配がきつい難所で、延々と石畳の急坂が続きます。



荒神堂と万宝院の墓

③

西国三十三所第一番札所の前札所として、かつて多くの巡礼者が訪れました。近くには、山賊を退治した山伏・万宝院の墓があります。



さくらの森広場

④

さくらの森にある東屋からは、天気が良ければ志摩半島から那智山まで望めます。

- 距離／約10.1km(熊野古道センター～JR三木里駅)
- 歩行時間／5時間
- 散策レベル／★★★★★
- コースの特徴／西国第一の難所といわれ、かつては山賊や狼が出没して巡礼者を苦しめました。八鬼山越えでは、いたるところで石仏に出会います。史跡も多く、絶景も望めますが、登り・下りともに厳しい道です。体力に自信のある方は、昔の巡礼者の気分を味わってみてください。



道標

石の道標に、「ひたりくまのミチ(左くまの道)」と書かれています。



展望峰

標高120mの三木峠から標高139mの展望峰へ行くとベンチがあり、熊野灘や三木浦の集落が見渡せます。



猪垣

立派な猪垣を横切ります。そのまま猪垣に沿って歩くと、「左くまの道」という石の道標があります。



賀田羽根の五輪塔

江戸初期の五輪塔。五輪とは仏教思想における宇宙生成の五大要素「空、風、火、水、地」を指し、故人供養のために建てられたといわれます。

■ 距離／約6km (JR三木里駅～JR賀田駅)

■ 歩行時間／3時間

■ 散策レベル／★★

■ コースの特徴／近年、地元の方々によって発掘されました。自然道はとことろで寸断されていますが、木々の間から海が見える、眺めの良い道です。峠から延々と続く見事な猪垣は、当地方最長と言われ、そこに暮らした人々の存在を物語っています。



室町時代、治安の悪化に困り果てた村人が近江から招いた佐々木宇右衛門は、名を曾根弾正と改め、この地を治めました。



猪や鹿が田畑へ侵入するのを防ぐために作られた猪垣。往時の人々の苦勞が偲べれます。熊野市側には他地域にはない猪垣記念碑があります。



古道から少し離れたところに、江戸城の築城に使われた石材の石切場がありました。石畳の中にも石を切った跡がついたものがあります。



「ほうじ」とは、「榜示」という領地の境界を示すものに由来します。ここは中世の頃、志摩国と紀伊国の境だったといわれています。

- 距離／約5.7km(JR賀田駅～JR二木島駅)
- 歩 行 時 間／3時間
- 散 策 レ ベ ル／★★★
- コースの特徴／尾鷲市と熊野市の市境である甬母峠を越えるコースです。曾根の貴重な史跡を巡るほか、古道では美しい石畳や猪垣などに会えます。八鬼山を越えた後の峠越えは困難だったのか、道沿いには行き倒れの巡礼供養碑が佇んでいます。



巡礼供養碑群

一里塚跡近くの古道沿いに、合計8基もの行き倒れ巡礼供養墓碑が立ち並んでいます。



田んぼ跡と猪垣

かつて田んぼがあった広場を囲むように猪垣が残っています。



逢神坂峠

標高290mの林に覆われた峠。昔は大きな松があり、松の下には茶屋があったといひます。



新鹿海岸の遠望

峠越えの後の目に眩しい、新鹿海岸の眺望が開けます。旅の安全に感謝し、庚申様にお参りしましょう。

■ 距離／約4.6km (JR二木島駅～JR新鹿駅)

■ 歩行時間／3時間

■ 散策レベル／★★

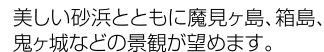
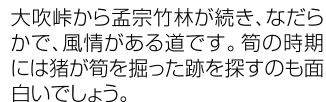
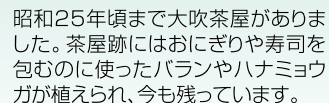
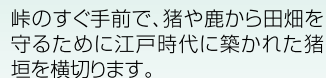
■ コースの特徴／「逢神」とは、伊勢と熊野の神が出会う場所という意味で、かつては狼が出没したためという説もあります。古くから捕鯨の里として知られる二木島から古道にはいると、ほぼ全区間に苔むした石畳が通っています。



弘法大師が残した足跡といわれる凹地に霊水が枯れることなく溜まり、その水は万病にご利益があるといわれています。

西丹後守屋敷跡の前の巨石に、仇討ちに来た夫婦を返り討ちにしてしまったことを自ら戒め、「勤慎忍」と刻んだものです。

- 距離／約4km（ＪＲ新鹿駅～ＪＲ波田須駅）
- 歩 行 時 間／１時間30分
- 散策レベル／★
- コースの特徴／波田須は、二千年以上の昔に不老不死の仙薬を求めて中国からやってきた徐福が上陸した里と伝えられています。海と山の間に棚田や民家が点在する、伝説と神話の里で数々の史跡を巡り、悠久の時を感じることができます。徐福が求めた不老不死の薬だといわれる天台烏薬の木は、波田須神社や徐福の宮周辺に植えられています。



- 距 離／約4km (J R 波田須駅～ J R 大泊駅)
- 歩 行 時 間／2時間
- 散 策 レ ベ ル／★
- コースの特徴／熊野古道には珍しい竹林が広がる、竹林の古道です。それほど厳しいところもなく、情緒ある景観の中、古道歩きを楽しむことができます。山を降りると、目前に広がる大泊湾の白い砂浜が、古道歩きの疲れを癒してくれます。



- 距離 / 約3.8km (JR大泊駅発着)
■ 歩行時間 / 1時間40分(大観猪垣道を経由する場合の距離・歩行時間は別紙)

■ 散策レベル / ★

■ コースの特徴 / 観音信仰が盛んな時代は大吹峠道を通らずに、道の傍らに西国三十三所の観音石像が立ち並び観音道がよく使われました。かつて、観音様の命日には多くの人が参り、お寿司やおはぎを売る店も出て、大変な賑わいだったということです。

清泰寺には、清水寺から移された千手観音立像が安置されており、境内には西国三十三所観音石像の第一番から第四番までが立っています。



西国三十三所観音石像の第五番～第十五番が並んでいます。これから続く石畳道の脇にも石像が立ち並び、心が和みます。



ふくろう岩と名づけられた大きな岩の麓に、観音様6体とお地藏様1体が並んでいます。



木造の祠の中に、自然石の馬頭観音像が安置されています。右隣には、第三十三番谷汲山華嚴寺の観音像が建っています。



江戸の石畳

時折真つ赤な力二も横切る、苔むした石畳を歩きます。石畳の側面が見事な石垣で固められています。



松本峠

建ったその日に妖怪と間違えられて
鉄砲傷をつけられてしまったという、
大きなお地蔵様が出迎えてくれます。



東屋からの眺望

峠から約10分程東へ歩くと、熊野速玉大社がある新宮まで約25kmも続く七里御浜と、山並みが一望できます。



明治の石畳

明治元年に木本と古泊の漁師が鮪の水揚げに関する騒動を起こしました。この石畳は、代官所が罰として漁師達に築かせたものです。

- 距離／約4.1km（JR大泊駅～JR熊野市駅）
 ■ 歩行時間／1時間45分（JR有井駅着のルート、鬼ヶ城に行くルートの距離・歩行時間は別紙）

- **散策レベル**／★
- **コースの特徴**／ほとんどの道に美しい石畳が残り、竹林に囲まれた峠では、等身大ほどの大きなお地蔵様が出迎えてくれます。松本峠を越えれば、浜街道を経て新宮まで峠越えはありません。かつての巡礼者が、七里御浜の向こうの新宮に鎮座する熊野速玉大社に思いを馳せたであろう場所です。鬼ヶ城跡から鬼ヶ城センターへ遊歩道を下ると、大泊駅へ戻るショートコースになります。



鬼ヶ城

獅子岩

2

花の窟



4

紀南ツアーデザインセンター

明治時代に木本（現熊野市）を代表する林業家・初代奥川吉三郎氏の私邸だった築130年の木造民家を休憩所として利用しています。また、熊野ならではの自然・文化に触れる展示・講座・エコツアー等を多数開催しています。

※平成26年3月現在、土砂崩れのため通行止です。



■ 距離 / 約5.4km (横垣峠登り口バスターミナル～高千良バス停)

■ 歩行時間 / 2時間10分

■ 散策レベル / ★★

■ コースの特徴 / 熊野古道伊勢路は、花の窟神社が鎮座する熊野市有馬で、海岸沿いに新宮を目指して南下する浜街道と、本宮を目指す本宮道に分かれます。本宮道の横垣峠道では、この地特有の神木流紋岩が敷き詰められた石畳が整然と続きます。



水壺地蔵と湧き水

1 水壺地蔵とも呼ばれる地蔵の横に、弘法大師がここを通った際、杖で穴を開けて水を出したという伝説の湧き水があります。



横垣峠

2 東側の一部が開けており、熊野灘の海が見えます。



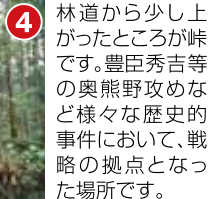
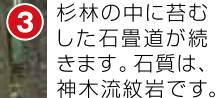
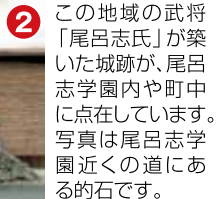
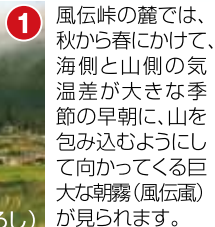
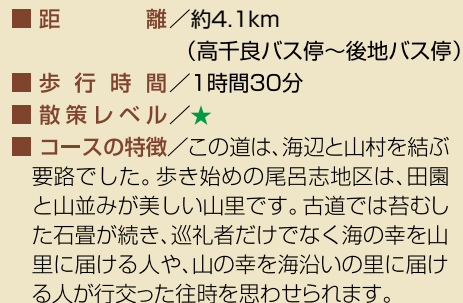
神木流紋岩の石畳道

3 地殻変動の際にマグマが波紋状に固まったという、この地方特有の神木流紋岩の石畳。季節ごとに野花が石畳を彩ります。



亀島の石灯籠

4 棚田の中に亀島と呼ばれる周囲25m、高さ5mの大岩があります。頂上には石灯籠が建てられています。





少し狭いですが、約800mの石畳道が残っています。炭焼窯の石積みが残っているなど、かつての山の暮らしがうかがえます。



山腹に築かれた約7.2haの見事な棚田と山並みが一望できます。慶長6年(1601)には2,240枚の水田があったと記録されています。



風通しの良い峠に、嘉永4年(1851) 建立の子安地蔵が祀られています。



丸山千枚田の景色に大きな安定感を与えてくれます。

- 距離／約7.9km(千枚田・通り峠入り口バス停発着)
- 歩行時間／2時間20分
- 散策レベル／★
- コースの特徴／風伝峠を降りると、本宮へ向かう本宮道と吉野方面へ向かう北山道に分かれます。世界遺産登録の対象ではありませんが、古くから生活道として使われ、海の幸と山の幸が行き交った道です。丸山千枚田の中の道を歩きながら、里山の暮らしが息づく風景を堪能できます。



丸山千枚田

山腹に築かれた約7.2haにわたる見事な棚田です。県道脇にも展望のための小さな駐車スペースがあります。



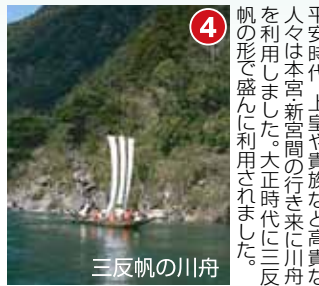
飛雪の滝

地元の方の憩いの場となっている美しい滝。かつては近くに筏師達の休憩小屋や茶屋があり、人影も多かったといいます。



楊枝薬師堂

京都三十三間堂の棟木には楊枝の柳の巨樹が使われていたといわれ、これに因んだ柳の精「お柳」の物語が伝えられています。境内にはお柳の供養碑も建てられています。



三反帆の川舟

平安時代、上皇や貴族など高貴な人々は本宮・新宮間の行き来に川舟を利用しました。大正時代に三反帆の形で盛んに利用されました。

■ 距離 約60km (花の窟神社～<国道311号>～紀和町板屋～<県道780号>～楊枝薬師堂～<県道740号>～紀宝町成川)

■ ドライブ時間 2時間30分～3時間

■ 散策レベル ★★

■ コースの特徴 花の窟神社が鎮座する熊野市有馬から本宮を目指す本宮道に平行する県道や、熊野川に沿って新宮を目指す川端街道(川丈街道ともいう)沿いの県道を走り、名所や史跡を訪れることができるドライブコースです。のどかな里山や熊野川の渓谷など、熊野の風景美を楽しめます。



ここを追分として、左は浜街道を経て新宮、右は本宮道を経て本宮に至りますが、本宮への道は神木までは大変難儀です。



河口に積もった浜砂利のため海水が逆流し集落・田畑を水浸しにしました。こうした自然災害から守るため市木川河口に水神塔が建っています。



かつては橋もなく、波の引き間を利用して河口の浅瀬を走り渡りましたが、波にのまれる人もありました。志原川尻には巡礼供養碑があります。



かつて、旧街道を挟んで1個ずつの塚がありましたが、昭和37年の国道改修によって取り除かれました。

- 距離／約12.2km (JR熊野市駅～JR阿田和駅)
- 歩行時間／4時間
- 散策レベル／★★
- コースの特徴／熊野市街から七里御浜に沿って、熊野速玉大社が鎮座する新宮を目指すのが浜街道です。この街道に峠越えはありませんが、多くの巡礼者が志原川や市木川の河口を渡る際に波にさらわれ命を落としました。平坦な道ですが、距離が長いのでそれなりの体力が必要です。



六部の墓

海岸沿いの林の中には、江戸時代に熊野三山参拝の途中に命を失くした六部の墓があります。



徳本上人名号碑とえびす様

徳本上人を讃える石碑とえびす様が祀られています。かつては旅館や茶屋があり、巡礼や筏師達の休憩の場所でした。



加持鼻王子権現跡

特徴的な岩のかたちが印象的な伊勢路にあった数少ない王子の一つです。津波で2度流され、今は井田上野口JBガード近くに移し祀られています。



成川の渡し跡

巡礼者達は長い旅の末に、ここから舟で対岸に渡り熊野速玉大社へ辿りつきました。

- 距離／約14.4km（ＪＲ阿田和駅～ＪＲ新宮駅）
- 歩 行 時 間／５時間
- 散 策 レ ベ ル／★★★
- コースの特徴／七里御浜の海岸沿いや、少し山側の見晴らしの良い高台を歩き、川の熊野古道として世界遺産にも登録されている熊野川に出ます。熊野川の向こうは熊野権現の聖地。巡礼者の感慨はいかほどだったのでしょうか。熊野速玉大社への参拝を終えた巡礼者は、熊野那智大社や熊野本宮大社を目指してさらに旅を続けました。

コース別 距離・歩行時間 (※語り部案内付きの場合の標準的な時間です)

3 荷坂峠道

約7.5km 2時間30分 (梅ヶ谷駅～紀伊長島駅)

梅ヶ谷駅 $\frac{2.8\text{km}}{50\text{分}}$ 荷坂峠(降り口) $\frac{1.5\text{km}}{45\text{分}}$ 登り口 $\frac{1.9\text{km}}{30\text{分}}$ 道の駅紀伊長島マンボウ $\frac{1.3\text{km}}{25\text{分}}$ 紀伊長島駅

4 ツヅラト峠道

約9.5km 4時間 (梅ヶ谷駅～紀伊長島駅)

梅ヶ谷駅 $\frac{3.5\text{km}}{1\text{時間}10\text{分}}$ 登り口(栃古) $\frac{0.6\text{km}}{30\text{分}}$ ツヅラト峠 $\frac{1.2\text{km}}{1\text{時間}}$ 登り口(志子奥) $\frac{2.4\text{km}}{50\text{分}}$ R422 $\frac{1.8\text{km}}{30\text{分}}$ 紀伊長島駅

6 一石・平方峠・三浦峠道(熊ヶ谷道)

約7.6km 3時間 (加田教会前バス停～三野瀬駅)

加田教会前バス停 $\frac{0.8\text{km}}{25\text{分}}$ 一石峠 $\frac{0.5\text{km}}{15\text{分}}$ 平方峠 $\frac{3.8\text{km}}{1\text{時間}20\text{分}}$ 三浦峠道登り口(道瀬) $\frac{0.5\text{km}}{20\text{分}}$ 三浦峠 $\frac{1.3\text{km}}{30\text{分}}$ 三浦峠道登り口(三浦) $\frac{0.7\text{km}}{10\text{分}}$ 三野瀬駅

7 始神峠道①

約3.5km 1時間50分 (始神さくら広場～始神さくら広場)

始神さくら広場 $\frac{0.5\text{km}}{10\text{分}}$ 江戸道登り口 $\frac{1.0\text{km}}{45\text{分}}$ 始神峠 $\frac{1.8\text{km}}{50\text{分}}$ 明治道登り口 $\frac{0.2\text{km}}{5\text{分}}$ 始神さくら広場

7 始神峠道②

約4.8km 2時間 (始神さくら広場～大舟橋)

始神さくら広場 $\frac{0.5\text{km}}{10\text{分}}$ 江戸道登り口 $\frac{1.0\text{km}}{45\text{分}}$ 始神峠 $\frac{2.1\text{km}}{45\text{分}}$ 宮谷池 $\frac{1.2\text{km}}{20\text{分}}$ 大舟橋

8 馬越峠道

約5.2km 2時間45分 (道の駅海山～尾鷲駅)

道の駅海山 $\frac{0.6\text{km}}{10\text{分}}$ 鷲毛バス停 $\frac{1.6\text{km}}{1\text{時間}10\text{分}}$ 馬越峠 $\frac{0.9\text{km}}{40\text{分}}$ 馬越公園 $\frac{2.1\text{km}}{45\text{分}}$ 尾鷲駅

コース別 距離・歩行時間

10 八鬼山越え

約10.1km 5時間 (熊野古道センター～三木里駅)

熊野古道センター $\frac{0.6\text{km}}{10\text{分}}$ 向井西バス停 $\frac{0.4\text{km}}{10\text{分}}$ 登り口 $\frac{3.8\text{km}}{2\text{時間}20\text{分}}$ 三木峠 $\frac{2.5\text{km}}{1\text{時間}20\text{分}}$ 登り口 $\frac{2.8\text{km}}{1\text{時間}}$ 三木里駅

11 三木峠道・羽後峠道

約6km 3時間 (三木里駅～賀田駅)

三木里駅 $\frac{1.9\text{km}}{45\text{分}}$ 登り口 $\frac{0.5\text{km}}{25\text{分}}$ 三木峠 $\frac{0.3\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口 $\frac{1.6\text{km}}{35\text{分}}$ 登り口 $\frac{0.2\text{km}}{10\text{分}}$ 羽後峠 $\frac{0.7\text{km}}{25\text{分}}$ 登り口 $\frac{0.8\text{km}}{25\text{分}}$ 賀田駅

12 曾根次郎坂太郎坂

約5.7km 3時間 (賀田駅～二木島駅)

賀田駅 $\frac{1.3\text{km}}{30\text{分}}$ 登り口(曾根) $\frac{1.3\text{km}}{1\text{時間}}$ 甫母峠 $\frac{2.6\text{km}}{1\text{時間}15\text{分}}$ 登り口(二木島R311との合流点) $\frac{0.5\text{km}}{15\text{分}}$ 二木島駅

13 二木島峠道・逢神坂峠道

約4.6km 3時間 (二木島駅～新鹿駅)

二木島駅 $\frac{0.6\text{km}}{25\text{分}}$ 登り口(二木島R311との合流点) $\frac{0.8\text{km}}{50\text{分}}$ 二木島峠 $\frac{0.6\text{km}}{30\text{分}}$ 逢神坂峠 $\frac{1.6\text{km}}{1\text{時間}}$ 登り口(新鹿) $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 新鹿駅

14 波田須の道

約4km 1時間30分 (新鹿駅～波田須駅)

新鹿駅 $\frac{2.5\text{km}}{50\text{分}}$ 波田須の道(世界遺産部分) $\frac{0.3\text{km}}{10\text{分}}$ 波田須神社 $\frac{1.2\text{km}}{30\text{分}}$ 波田須駅

15 大吹峠道

約4km 2時間 (波田須駅～大泊駅)

波田須駅 $\frac{1.5\text{km}}{40\text{分}}$ 登り口(波田須) $\frac{0.5\text{km}}{25\text{分}}$ 大吹峠 $\frac{1.2\text{km}}{45\text{分}}$ 登り口(大泊) $\frac{0.8\text{km}}{10\text{分}}$ 大泊駅

コース別 距離・歩行時間

16 観音道①

約3.8km 1時間40分 (大泊駅～大泊駅)

大泊駅 $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(観音道) $\frac{0.9\text{km}}{50\text{分}}$ 清水寺 $\frac{0.9\text{km}}{20\text{分}}$ 登り口(観音道) $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 大泊駅

16 観音道②

約5.2km 3時間 (大泊駅～大泊駅)

大泊駅 $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(観音道) $\frac{0.9\text{km}}{50\text{分}}$ 清水寺 $\frac{0.5\text{km}}{15\text{分}}$ 波田須・オタオ山・大観猪垣道分岐点 $\frac{0.8\text{km}}{45\text{分}}$ 大吹峠 $\frac{1.2\text{km}}{45\text{分}}$ 登り口(大泊) $\frac{0.8\text{km}}{10\text{分}}$ 大泊駅

17 松本峠道①

約4.1km 1時間45分 (大泊駅～熊野市駅)

大泊駅 $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(大泊) $\frac{0.4\text{km}}{25\text{分}}$ 松本峠 $\frac{0.3\text{km}}{10\text{分}}$ 東屋 $\frac{0.3\text{km}}{10\text{分}}$ 松本峠 $\frac{0.3\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(木本) $\frac{1.8\text{km}}{30\text{分}}$ 熊野市駅

17 松本峠道②

約5.6km 2時間30分 (大泊駅～有井駅)

大泊駅 $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(大泊) $\frac{0.4\text{km}}{25\text{分}}$ 松本峠 $\frac{0.3\text{km}}{10\text{分}}$ 東屋 $\frac{0.3\text{km}}{10\text{分}}$ 松本峠 $\frac{0.3\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(木本) $\frac{2.3\text{km}}{1\text{時間}}$ 花の窟 $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 有井駅

17 松本峠道③

約4.9km 2時間10分 (大泊駅～大泊駅)

大泊駅 $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(大泊) $\frac{0.4\text{km}}{25\text{分}}$ 松本峠 $\frac{0.3\text{km}}{10\text{分}}$ 東屋 $\frac{0.6\text{km}}{25\text{分}}$ 鬼ヶ城跡 $\frac{0.7\text{km}}{25\text{分}}$ 鬼ヶ城 $\frac{0.9\text{km}}{15\text{分}}$ 登り口(大泊) $\frac{1.0\text{km}}{15\text{分}}$ 大泊駅

コース別 距離・歩行時間

19 横垣峠道

約5.4km 2時間10分 (横垣峠登り口バス停～高千良バス停)

横垣峠登り口バス停 $\frac{1.2\text{km}}{30\text{分}}$ 登り口(神木 林道合流点) $\frac{1.5\text{km}}{30\text{分}}$ 横垣峠 $\frac{0.7\text{km}}{10\text{分}}$ 登り口(阪本 亀島の灯籠付近) $\frac{2.0\text{km}}{60\text{分}}$ 高千良バス停

20 風伝峠道

約4.1km 1時間30分 (高千良バス停～後地バス停)

高千良バス停 $\frac{2.0\text{km}}{45\text{分}}$ 登り口(尾呂志) $\frac{0.9\text{km}}{25\text{分}}$ 風伝峠 $\frac{0.6\text{km}}{10\text{分}}$ 登り口(矢ノ川 R311合流点) $\frac{0.6\text{km}}{10\text{分}}$ 後地バス停

21 通り峠道と丸山千枚田

約7.9km 2時間20分 (千枚田・通り峠入口バス停～千枚田・通り峠入口バス停)

千枚田・通り峠入口バス停 $\frac{0.9\text{km}}{10\text{分}}$ 登り口(矢ノ川) $\frac{1.4\text{km}}{30\text{分}}$ 通り峠 $\frac{0.8\text{km}}{25\text{分}}$ 展望台 $\frac{0.8\text{km}}{15\text{分}}$ 通り峠 $\frac{0.7\text{km}}{10\text{分}}$ 登り口(丸山) $\frac{1.7\text{km}}{20\text{分}}$ 丸山千枚田(大岩) $\frac{1.6\text{km}}{30\text{分}}$ 千枚田・通り峠入口バス停

23 浜街道(北)

約12.2km 4時間 (熊野市駅～阿田和駅(道の駅パーク七里御浜))

熊野市駅 $\frac{12.2\text{km}}{4\text{時間}}$ 阿田和駅(道の駅パーク七里御浜)

24 浜街道(南)

約14.4km 5時間 (阿田和駅(道の駅パーク七里御浜)～新宮駅)

阿田和駅(道の駅パーク七里御浜) $\frac{5.0\text{km}}{1\text{時間}50\text{分}}$ 道の駅ウミガメ公園 $\frac{7.6\text{km}}{2\text{時間}45\text{分}}$ 速玉大社 $\frac{1.8\text{km}}{25\text{分}}$ 新宮駅

世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道

熊野古道 伊勢路



世界遺産 熊野信仰の道

平成16年7月7日に、熊野古道を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が、世界遺産リストに登録されました。「熊野三山」、「吉野・大峯」、「高野山」の3つの霊場と、これらを結ぶ「熊野参詣道(熊野古道)」、「大峯奥駈道」、「高野山町石道」からなり、三重県・奈良県と和歌山県に広がっている世界遺産です。

熊野古道は、熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)に参るための道。伊勢から、吉野から、高野山から、そして京都からと幾筋かのルートがありましたが、代表的なものが紀伊半島を西回りする「紀伊路」と、東回りの「伊勢路(東熊野街道)」でした。

紀伊路は、平安中期から鎌倉期にかけて盛んに行われた法皇や上皇らの御幸ルートで、道筋には熊野権現の末社として九十九王子社が祀られていました。これに対して、江戸時代以降盛んに歩かれるようになった伊勢路は、伊勢参宮を終えた旅人や、西国三十三カ所めぐりの巡礼たちが辿った、いわば庶民の道。起点の田丸で巡礼装束に身を改めた旅人が、いくつもの険しい峠を越えて、あこがれの地・熊野をめざした道です。

熊野古道・伊勢路手形ラリー

熊野古道・伊勢路全コースを踏破して、完歩賞を手に入れよう。

記念品

紀州のひのき完歩手形

■応募要領

- ・熊野古道各コース峠付近に手形スタンプが用意されていますので、所定のマスへスタンプを押してください。廻る順番は自由です。
- ・応募は1人1セットに限定させていただきます。必ず1枚の押印台帳に集めてください。
- ・所定のマスに手形スタンプが押されていないものや、「熊野古道・伊勢路手形ラリー」以外のスタンプが押してあるものは無効となります。

■お問い合わせ及び送付先

〒519-4393

熊野市井戸町371 東紀州地域振興公社

「熊野古道・伊勢路手形ラリー」係

TEL 0597-89-6172 FAX 0597-89-6184

- 各コース内地図の $\text{\textcircled{ス}}$ 印はスタンプ設置場所です。

川端(川丈)街道には設置していません。

- 浜街道はどちらか1ヶ所です。

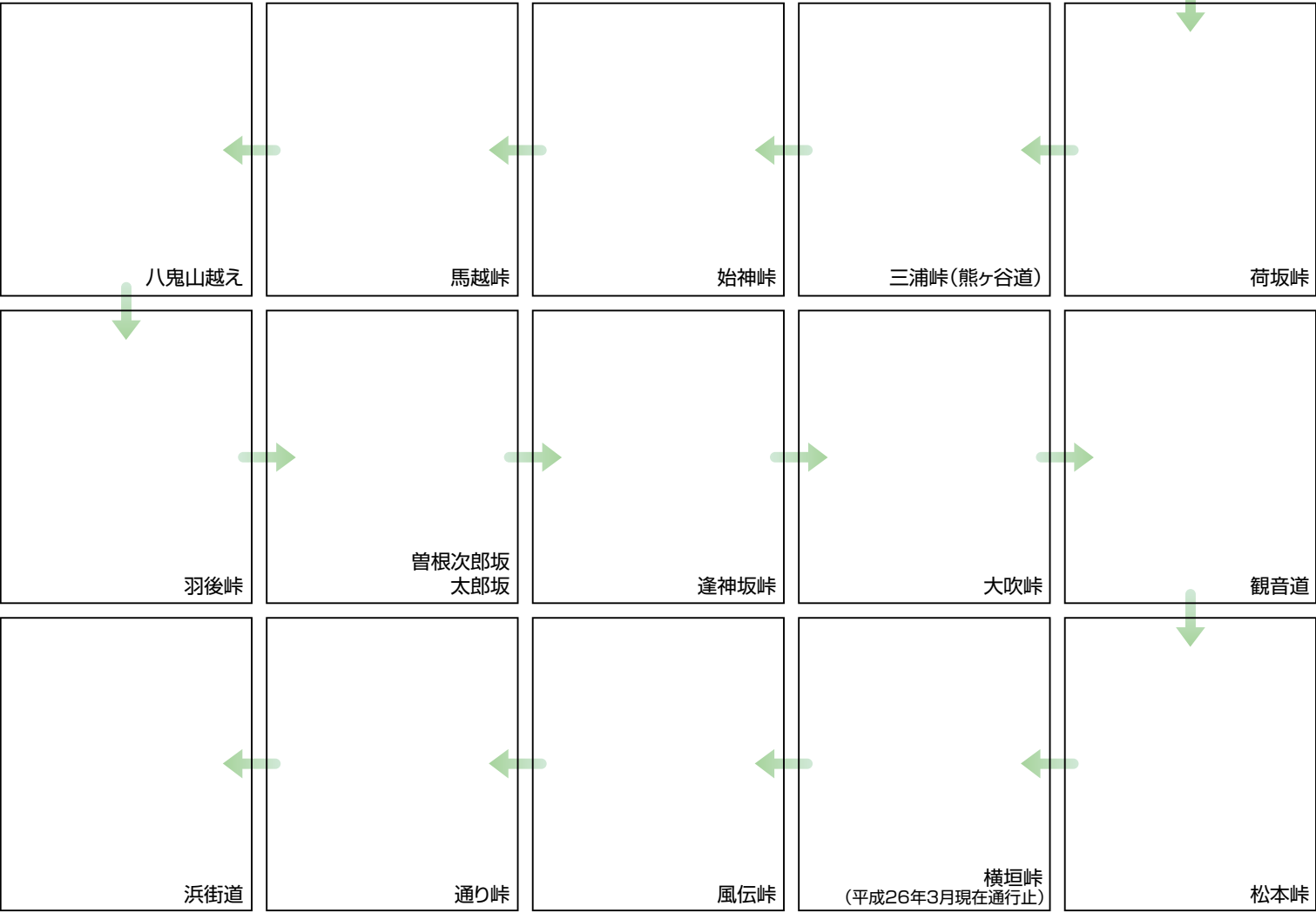
- スタンプを押し送付いただいた「熊野古道伊勢路」はお返します。

ウォーキングルートについて

各コース内地図のウォーキングルートは、熊野古道を多くの方々歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえ、ご活用ください。

事務局完歩認定印

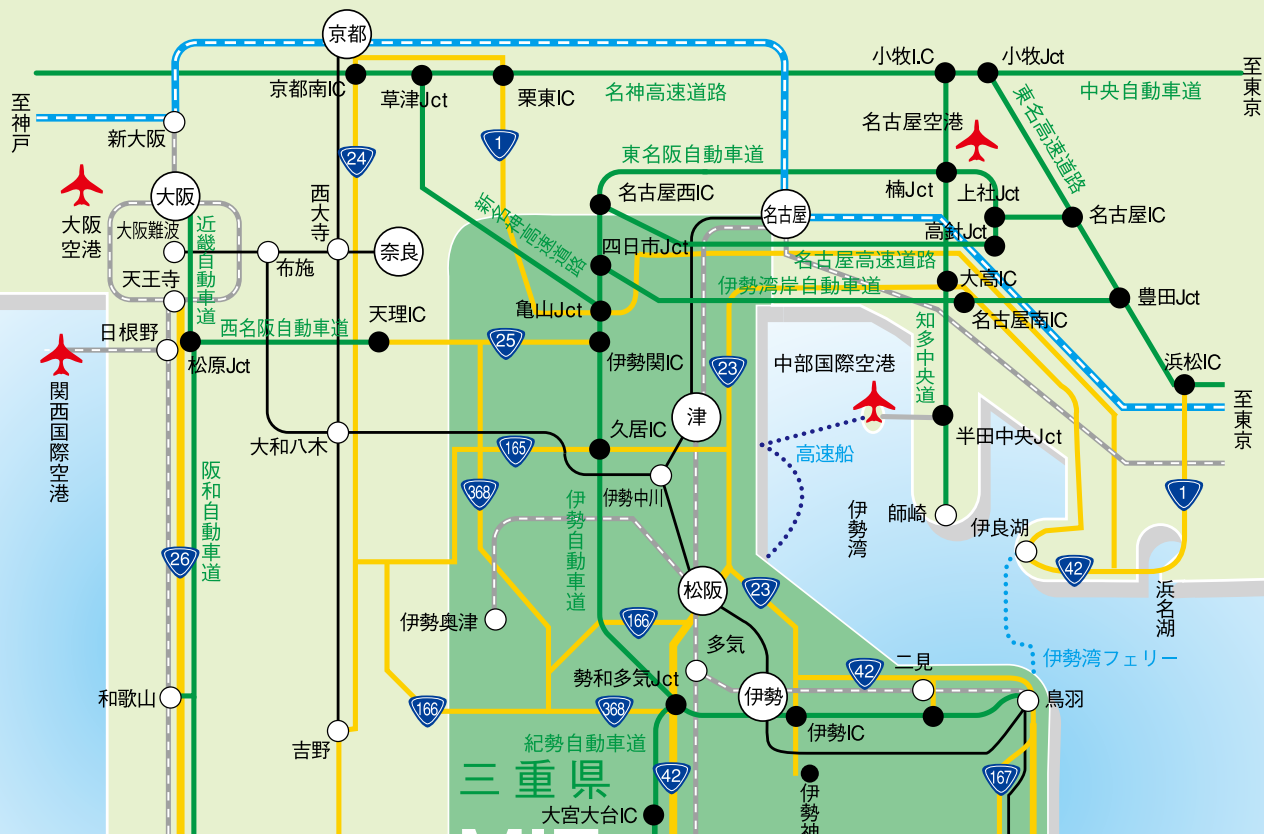
ツツラト峠



アクセスガイド

三重交通南紀営業所

☎ 0597-85-2196





東紀州のタクシー問い合わせ先

紀北町	紀勢交通	☎ 0597-47-1511
尾鷲市	尾鷲ハイヤー	☎ 0597-22-0238
	クリスタルタクシー	☎ 0597-22-1418
熊野市	熊野第一タクシー	☎ 0597-85-2155
	クリスタルタクシー	☎ 0597-85-2053
	入鹿ハイヤー	☎ 05979-7-0037
御浜町	美浜タクシー	☎ 05979-2-2053

鉄道・バスを利用するなら

●名古屋方面から

- ・J R 特急ワイドビュー南紀→尾鷲駅→熊野市駅

●大阪から

- ・近鉄特急→松阪→J R 特急ワイドビュー南紀→尾鷲駅→熊野市駅
- ・J R 特急くろしお→新宮→熊野市駅→尾鷲駅

●京都から

- ・近鉄特急→松阪→J R 特急ワイドビュー南紀→尾鷲駅→熊野市駅

マイカーを利用するなら

●東京方面から

- ・東名高速道路→豊田Jct→伊勢湾岸自動車道→四日市Jct→東名阪自動車道→伊勢自動車道→勢和多気Jct→紀勢自動車道→紀伊長島IC～熊野大泊IC
東紀州

●名古屋方面から

- ・名古屋西IC→東名阪自動車道→伊勢自動車道→勢和多気Jct→紀勢自動車道→紀伊長島IC～熊野大泊IC
東紀州

●京都方面から

- ・名神高速道路→草津Jct→新名神高速道路→亀山Jct→東名阪自動車道→伊勢自動車道→勢和多気Jct→紀勢自動車道→紀伊長島IC～熊野大泊IC
東紀州

●大阪方面から

- ・阪和自動車道→南紀田辺IC→国道311号線→熊野本宮方面へ→国道168号線→新宮→国道42号線→東紀州

紀伊山地の 参詣道ルール

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、万物、生命の根源である自然や宇宙に対する畏敬を、山や森に宿る神仏への祈りという形で受け継いできた、日本の精神文化を象徴する文化遺産です。

私たちは、このかけがえのない資産がもたらす恵みを、世界の人々がいつまでも分かちあえるよう、参詣道を歩くにあたって次のことを約束します。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 「人類の遺産」をみんなで守ります | 5 計画と装備を万全に、ゆとりをもって歩きます |
| 2 いにしえからの祈りの心をたどります | 6 道からはずれないようにします |
| 3 笑顔であいさつ、心のふれあいを深めます | 7 火の用心をこころがけます |
| 4 動植物をとらず、持ち込まず、大切にします | 8 ゴミを持ち帰り、きれいな道にします |



三重県立熊野古道センター

東紀州地域振興公社

紀北事務所

〒519-3695 三重県尾鷲市坂場西町1-1
Tel:0597-23-3784 Fax:0597-23-3785

紀南事務所

〒519-4393 三重県熊野市井戸町371
Tel:0597-89-6172 Fax:0597-89-6184

URL <http://higashikishu.org/>